

東北地方の復興状況

～ 東日本大震災から8年 ～



平成31年 3月 8日
東北地方整備局

東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況

復旧・復興事業計画		2011年3月11日時点	2019年3月31日時点	2019年4月以降
東北地方整備局	復興道路・復興支援道路 計画延長 550km ※ ※国土交通省が中心となって整備している路線	供用中 160km (29%)	開通済 392km (71%) ※ うち震災後開通 232km (42%) ※開通延長+開通予定公表 503km (91%)	事業中 158km (29%) うち2020年度までの 開通予定公表 111km (20%)
	河川堤防 復旧・復興延長 48km ※ ※直轄河川堤防(河口部) (阿武隈川、名取川、鳴瀬川、 旧北上川、北上川 の5河口)	被災・未整備延長 ▲ 48km (0%)※ ※5河口の要整備延長	完成延長 約 41km (86%) ※ ※5河口での整備済み延長 4河川完成済み (阿武隈川、鳴瀬川、北上川、名取川)	事業中 約 7km (14%) ※ ※旧北上川のみ
	港湾 防波堤の復旧延長 8,920m ※ ※大規模被災防波堤 (八戸港、釜石港、大船渡港、相馬港)	被災延長 ▲ 8,920 m (0%)	復旧延長 8,920m (100%)	全て復旧
自治体	まちづくり ①災害公営住宅 約29,400戸 ②民間住宅等用地※ 約18,200戸 ※防災集団移転促進事業、土地区画整理事業等	① 0戸 (0%) ② 0戸 (0%)	① 29,055戸 (99%) ② 17,821戸 (98%) ※「住まいの復興工程表」による (H30.9末現在)	① 約 320戸 (1%) ② 約 410戸 (2%) ※「住まいの復興工程表」による (H30.9末現在)

復興進捗の効果 ～道路・港湾～

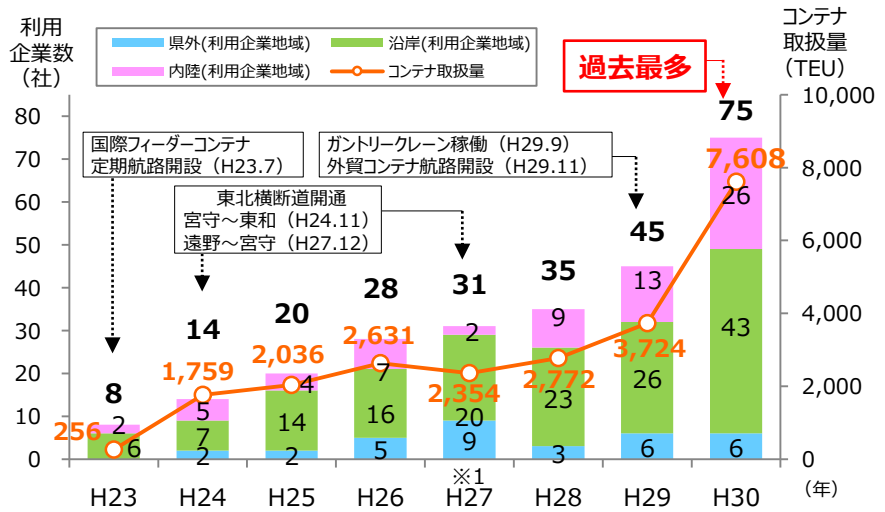


【復興道路・復興支援道路の整備状況 (直轄)】 2019.3.31予定

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長		開通延長 + 開通予定公表延長
			うち震災後開通	うち開通予定公表延長	
三陸沿岸道路 (八戸～仙台)	約 359km	256km	127km	103km	321km
宮古盛岡横断道路 (宮古～盛岡)	約 66km	28km	27km	38km	59km
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	80km	50km	0km	80km
東北中央自動車道 (相馬～福島)	約 45km	28km	28km	17km	43km
合計	約550km	392km (71%)	232km	158km (29%)	503km (91%)

※国土交通省が中心となって整備を進めている路線全長550km
 ※この他、宮城県事業として、みやぎ県北高速幹線道路(20km)が事業中

▼釜石港コンテナ航路利用企業数・コンテナ貨物取扱量推移



復興進捗の効果 ～河川・まちづくり～



釜石市 復興まちづくり (鵜住居地区)

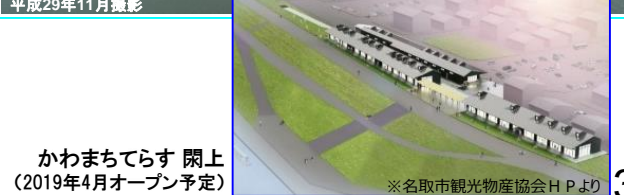


釜石鵜住居復興スタジアム (ラグビーワールドカップ2019開催会場)

石巻市 旧北上川かわまちづくり



名取市 かわまちづくりと道路・仙台空港とのネットワーク



第9回復興加速化会議での主なポイント

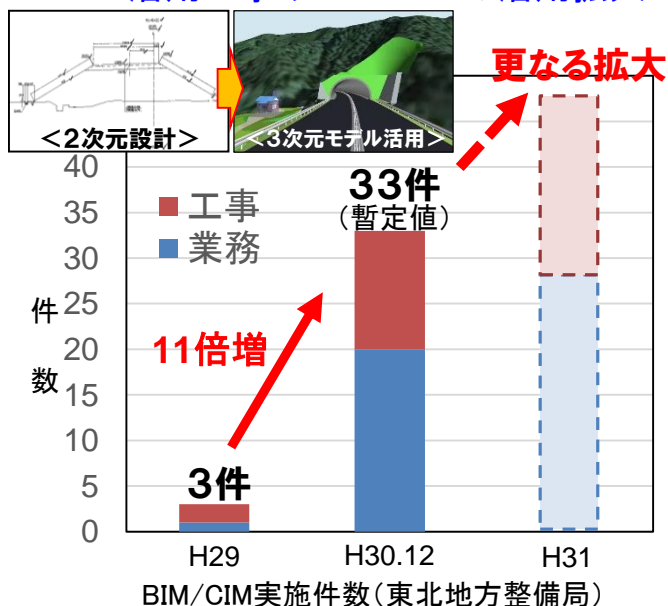
平成31年1月20日開催 石井国土交通大臣出席

- 「復興係数」の継続を決定
- 地方公共団体等との更なる連携により、「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の取組みを加速
- 各県・市と国土交通省が連携し、「3.11伝承ロードの構築」等、東北地方整備局がとりまとめ役となり、震災伝承に関する取組みを加速



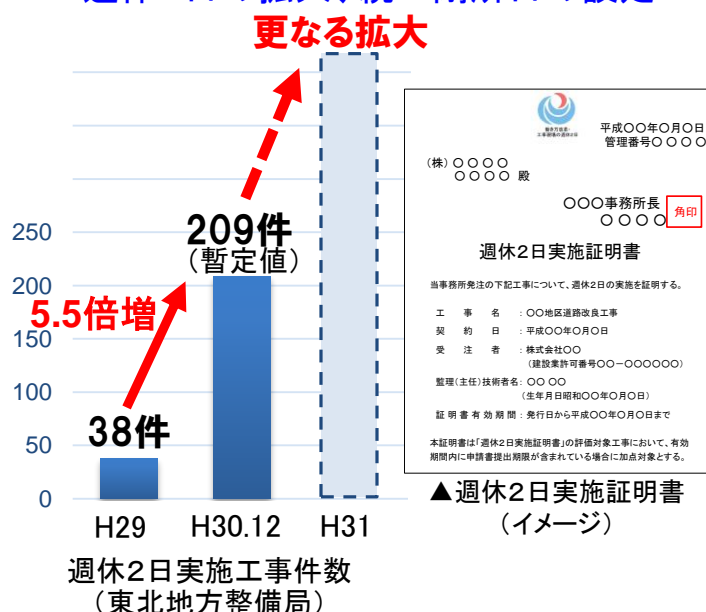
生産性向上

ICT活用工事やBIM/CIMの活用拡大



働き方改革

週休2日の拡大、統一閉所日の設定



担い手育成・確保

人材育成協議会の活動拡大



◆震災伝承施設

第一次募集 応募206件※
※登録結果はH31年3月公表予定

訪問・理解のしやすさ

分類に応じ、統一した標章
(ピクトグラム)の運用

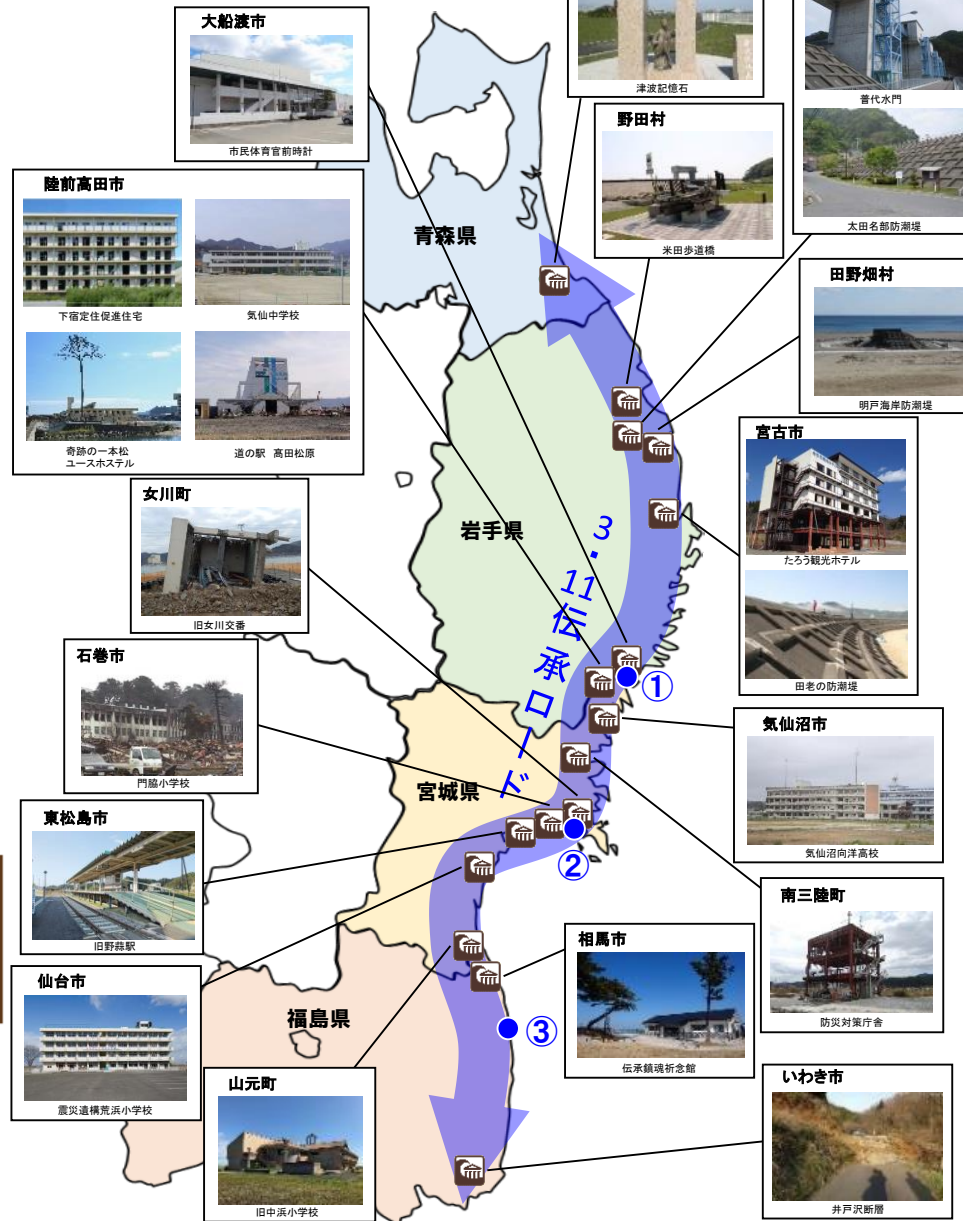


■標章(ピクトグラム)

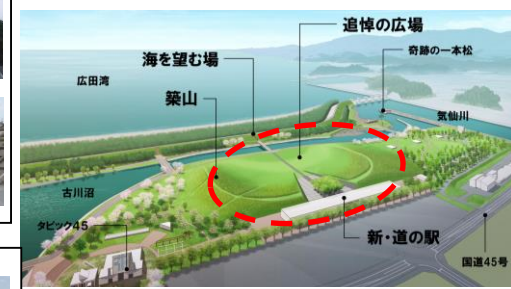


■案内看板(イメージ)

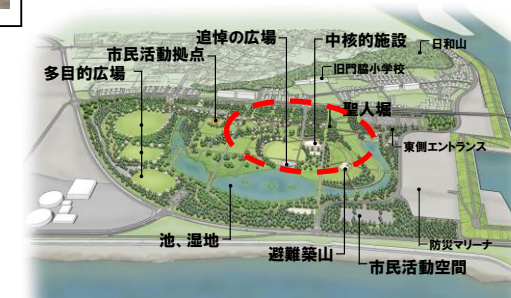
3.11伝承ロードのイメージ



国営追悼・祈念施設(仮称)



① 岩手県陸前高田市 (高田松原地区)



② 宮城県石巻市 (南浜地区)



③ 福島県双葉郡浪江町 (両竹地区)

※区域はイメージであり、今後の検討により変更となる可能性がある。